



ニュースレター

2025年（令和7年）6月5日 グリーフワークかがわ広報部

◆活動のご報告◆

昨年も皆様からのご寄付で沢山の事業を行う事ができました。簡単ではありますが一部ご報告させていただきます。

◆2024年度グリーフワークかがわ公開セミナー

2024年10月10日、11日14日、12月12日、2025年1月9日、2月13日
高松市男女共同参画センター第1学習室

昨年の公開セミナーの開催日時を試験的に平日の夜としたところ、週末の日中よりも参加人数が多かったため今年度は更に試験的に全5回を全て平日の夜の開催といたしました。大きなテーマは引き続き「暮らしのなかのグリーフワーク」として、担当講師がそれぞれに小テーマを取り上げています。

公開セミナーではグリーフワークについて初めての方にも分かりやすく解説され、グループワークなども行いながら、グリーフワークとは特別な事ではなく日常生活で私たち自身の傍に常にあったものだという事を気づかせてくれます。今年度は会員以外の一般の参加も多く、少しずつではありますがグリーフワークの輪が広がっていているなど実感する1年でした。

第55回 2024年10月10日(木)【身近にあるグリーフに気付いて心穏やかに過ごす】

講師：藤澤美江（グリーフワークかがわ認定カウンセラー・看護師）

第56回 2024年11月14日(木)【大切なものを失うときの気持ち】

講師：荻田育代（グリーフワークかがわ認定カウンセラー）

第57回 2024年12月12日(木)【私のグリーフあなたのグリーフ～それぞれの心の取扱説明書～】

講師：青木節子（グリーフワークかがわ認定カウンセラー）

第58回 2024年12月17日(木)【グリーフケアとグリーフワーク】

講師：秋山 美智子（グリーフワークかがわ認定カウンセラー・真宗興正派 慈照寺 坊守）

第59回 2025年1月9日(木)【ペットとお別れする時】

講師：西山和美（グリーフワークかがわ認定カウンセラー・ペットロスケアマネジャペット防災生活アドバイザー）

◆グリーフワークデー街頭キャンペーン

3月11日～16日は子どものグリーフワーク週間【子どもの声が聞こえますか？】

2025年3月9日（日）11:00～12:00 実施 於）JR 高松駅前

今年度もグリーフワークの普及啓発を目的とした街頭キャンペーンが行われました。街頭キャンペーンでご寄付頂いた分もテーマ募金の一部として計上されました。



子ども時代に愛する人と死別する体験が、子どもの心に痛々しい影響を与えることについて、一人でも多くの方が理解を深める機会となるために設けられています。



他にも【身近な人をなくした方のグループミーティング】【喪失を経験した子どもの親・保護者のためのグループミーティング・ひまわりミーティング】を今年度も毎月開催することができ、多くの方へグリーフワークの場を提供できました。皆様のご寄付のお陰で私たちはグリーフワークの大切さを広く広めることが出来ています。大切な社会貢献の一つとして皆様から頂いたご寄付で今後も安心して悲しみ・気持ちを語り合える社会となるよう励みますのでどうぞ今後ともご協力を頂けますようお願い致します。

認定 NPO 法人グリーフワークかがわ
グリーフワークかがわ HP・ニュースレターページでも
今までの活動内容をご覧いただけます→



認定 NPO 法人グリーフワークかがわ

◆「グリーフカウンセラーの資格と倫理に関するアンケート」調査を実施しました◆

2024 年度グリーフワークかがわ理事会
調査研究担当 植松

認定 NPO 法人グリーフワークかがわでは、相談員が行う活動における倫理について定めた倫理規程があり、相談員がその専門的業務に従事するにあたり遵守すべき事項を「特定非営利活動法人グリーフワーク香川相談員倫理綱領」として定めている。

2024 年度（2025 年 2 月～3 月）当法人では、グリーフワークかがわ認定カウンセラーを対象に、資格と倫理に関する現状を調査し、相談員の基本的倫理に対する意識を高めることを目的として、GoogleForm を用いたアンケートを実施した。

Web 回答では「言動を振り返ることを常に意識していることが必要」、「カウンセラーの倫理についてはしっかりと確認しておきたい」「世代間の倫理観のギャップや倫理観の更新が必要」、などの意見が挙げられた。

倫理には、秘密保持などの守秘義務や記録、多重関係だけではなく、相談員が価値観を強制しない、自身の個人的欲求や利益のために相談活動を行わない、相談員自身の個人的問題が相談に影響を及ぼしやすい自覚を持つ、などの相談員としての大切な姿勢が含まれる。各種法律および法規を遵守するだけではなく、相談の質とスキルを上げるためにも倫理を常に意識していきたい。

当法人では、相談員として必修の基本的倫理について扱う研修を継続するとともに、認定カウンセラーの質の向上のため、引き続き人材育成に取り組んでいく。

～ Feeling in Daily Life ～

◆～傾聴と寄り添いの原点～◆

小学校の新一年生を担当し、子どもたちの心身の目覚ましい成長には日々驚かされています。彼らの元気な挨拶は私にとっての「カンフル剤」です。子どもたちの計り知れない正直さと素直さは、時に大人（教師）を欺こうとする面も見せますが、良い結果に満面の笑みで喜ぶ姿は、大人が忘れがちな純粋さを気づかせます。

教育においては、褒めることと叱ることのバランスが重要ですが、私は「褒められることの力」の大きさを感じています。褒められた子どもは失敗を恐れずに挑戦し、たとえ失敗しても素直に反省して学ぼうとします。

教師という立場を考える時、私は「先生」という肩書きを少し横に置き、「一人の人間として子どもと向き合う」ことを大切にしています。子どもは大人をよく観察しており、困った時や苦しい時に寄り添ってくれる存在を求めています。子どもたちは、優しくされたり話を聞いてもらったりした経験を通して、今度は自分が他者の話を聞こうと変化していきます。これこそが「成長」であり、「愛のバトンタッチ」だと感じています。

子どもたちの成長には、悲嘆や喪失体験が大きく影響します。身近な人の喪失はもちろん、慣れた友達とクラスが離れたり、「苦しい出来事からも起こりうる喪失」もあります。これらの喪失は、不安や心配として身体症状（腹痛や頭痛など）となって現れることもあります。喪失は日常の中に誰でも経験するものであり、大人がその些細な変化に早く気づくことが非常に重要です。

私は、子どもたちに「枯れる」という話をすることがあります。朝顔の成長や枯れる姿を通して、早いうちから「真実を伝え、事実を受け止めること」の必要性を伝えています。辛い体験を含む事実を受け止めることが、喪失から学ぶことにつながります。また、「想像すること」も大切です。悲しい事実を知ること、次に活かそうという気持ちが芽生えることもあり、ある意味、喪失はプラスにつながる可能性もあることを知ってほしいと願っています。

子どもは「お話が大好き」です。安心して話せる相手がいることで、心の中の苦しい思いを解き放つことができます。その話に耳を傾け、「傾聴と寄り添い」を通じて一緒に考えることが、私たち大人に与えられた役割であり「永遠のテーマ」だと確信しています。子どもたちが、時間をかけて自分を立て直すためのサポートこそ、大人にできる最も重要なことだと考えています。この小さな築き上げを日々重ねながら、子どもたちがそれぞれの夢や希望を叶えてくれることを心から願っています。

グリーフワークかがわ 教育研修担当理事 河合信幸

◆2025年5月11日 第209回理事会◆

《審議事項》

第1号議案：4月末の会計に関する事項（事務局）

事務局長より口頭にて説明があり、特記事項としては会員からの寄附があったこと、支出について

は毎月の家賃，電話料金等があったことが報告され承認された。

第2号議案：2024年度事業報告（案）と収支決算（案）に関する事項

事務局長から，事業報告案，活動計算書，貸借対照表をもとに説明があった。令和7年度香川県地域自殺対策強化事業補助金とテーマ募金についてそれぞれ確定されたので会計処理に反映させるとの報告があり，承認され，5月20日に監査を受けることで了承された。

第3号議案：2025年度事業計画（案）と収支予算（案）に関する事項

事務局長から事業計画案と収支予算案について説明があり，備品の見積額を追加する事務局からの案で承認された。

第4号議案：第21回社員総会準備に関する事項

出席回答はハガキを同封し，議案書と案内は5月25日に投函，回答締め切りを6月6日（必着）とすることと，総会資料については事務局で準備の案で承認された。総会資料原稿は23日までに確定し，24日午後に参画センターにて封入準備とする。

第5号議案：香川県社協傾聴ボランティア養成講座への講師依頼に関する事項

高松前期会場と綾川会場で未定であった講師としてそれぞれ認定カウンセラーを1名ずつ派遣することで承認された。引き続き講師会を開催していく。

第6号議案：三豊市からの身近な人のグループミーティング事業委託依頼に関する事項

三豊市の予算の関係で今年度は市民講座開催へ変更したいという依頼を受諾することと承認されるとともに，「委託事業」という場合の条件や縛り，見通し等については情報収集と検討が必要であることが確認された。引き続き三豊市福祉課と連絡を取り合う。

以上

～ 編集後記 ～

気分転換をしたくなった時に手に取る本がいくつかあります。

そのうちの 하나가谷川俊太郎作、和田誠絵「いろはうた」。

気が向いたときに、ページを適当に開いてみます。今日のページは、

「き」 気に病めばきりが無い。と、「ゆ」 湯冷めの早い雪女。

和田誠さんのイラストが相乗効果をもたらして、想像したら、ふっと

肩の力が抜ける感じが、丁度いいのです。雪女さんはそりゃあ湯冷めも早いでしょうね。

皆さんの気分転換のアイテムは何ですか？

ご寄稿頂いた皆様、ありがとうございました。（青木）

